

たましゅうこ
玉小っ子

<http://www.town.tamamura.ed.jp/tamamura-e/>

令和2年度 玉村小学校
学校だより 第12号
2020年7月20日発行

📎📎📎📎📎 「朝トク」の時間 14日 📎📎📎📎📎



5年生 プリント学習

■毎週火曜日の朝の活動の時間は「朝トク」の時間です。名前は、3年前に子ども達が命名し、自分たちにとって「得」になる時間を意味しています。今年度は、新型コロナ対応でスタートが大変遅れましたが、朝学習の時間として、各学年で工夫をしながら始まったところです。プリントやドリルなどなど、子ども達の学習能力を伸ばせる取り組みです。1年生達も徐々に取り組んでいけるようになりますし、今後、毎週の取り組みを重ねていくことで、これから子ども達の学習に向かう姿勢や学習能力の向上が実感できるようになることを大いに期待しています。既にプリントやワークの学習が始まっている高学年の様子を紹介します。「火曜の朝は「朝トク」だ～、しっかりやるぞ～」と、向かう気持ちが「習慣」付くことが大事なのですね。



6年生 ワーク学習

*** 全員で「体育集会」が実施できました 15日 ***

★前日の天気予報を見ていて全校での実施を期待していました。やっとできましたね～。梅雨の合間に児童全員が校庭に揃ったのは、3日の全校朝礼以来でした。「全員で」が、こんなに嬉しく思えるのは、コロナ対応の大変さから



ラジオ体操第一

来る素直な気持ちなのでしょうね。さて、子ども達は、体育着をしっかりと着て、赤白帽子をまぶかにかぶって、夏らしい短めの靴下をはいて、大校庭に大きく広がってラジオ体操に臨みました。体育委員会の子ども達も立派にお手本を見せてくれましたね。素晴らしいひとときでした。

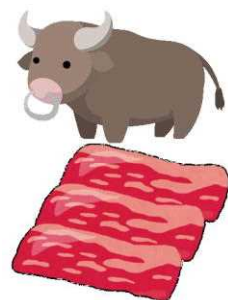


体育委員のお手本

💡 食の指導と給食の様子取材が来ます 7/27 💡

💡新型コロナウイルス感染の影響もあって、和牛肉などの生産者支援のため、国は「和牛肉等販売促進緊急対策事業」の一つ「学校給食提供推進事業」として、文部科学省と連携して、学校給食へ和牛肉等を提供し、様々なメニューを通じて、美味しさや魅力を伝えることをねらう取組を全国で実施します。群馬県では「高級和牛肉」と「群馬地鶏」を食材として提供されます。玉村町では、これから6回の給食に提供されます。今回、県内で最初に「高級和牛肉」が提供される玉村町に取材が来ることとなり、給食センターに近い玉小に声がかかりました。取材学級は、学級の人数や食の指導の内容、アレルギー等を考慮して、5年1組にお願いしました。今回の国の事業のことや和牛肉の美味しさなどについて栄養教諭や栄養士さんの食の指導の様子とともに、給食を食べている子ども達の様子を取材します。1組の子ども達は、新聞社やテレビ局のスタッフからインタビューされるかもしれませんね…。「高級和牛肉の裏話」が「こうちょうのひとりごと」に載っていますので、そちらもご覧下さい。良すぎる食材も調理が大変なのです。嬉しすぎる悲鳴かな \(\^o^)/

※ 撮影への配慮はしますが、子ども達が新聞写真やTV映像に映る場合があります。映り込みが困る場合は、担任の先生にお知らせ下さい。



「めあて」はどんな時でも意識させることが大事

■前回の「振り返り」に続いての掲載です。「めあて」は、これから行う学習や活動の「意義」や「やる意味」「意識すべき事」「考えること」など、子ども達に知らせる役割があります。例えば、算数の授業で、めあて「筆算の仕方を確かめよう」と授業の開始時に伝え、黒板に書きます。このことで、子ども達は「この時間は筆算の仕方を確かめるのだな」と意識するわけです。問題を解いていく中で仕方を考えていくわけです。でも、何の提示もないまま「ハイ、この問題を考えてごらん」と問われても「筆算の仕方を意識させること」はできません。玉小では、授業の開始時の「めあて」を示すことは全員の先生が実践しています。1年生から6年生まで、授業の始めに「めあて」を確認するものと習慣付いています。中高学年の子どもならば、「この時間のめあては～なんだな」と意識もできています。どんなことに取り組む場合でも、「～を行うことで、何を得的のか」がしっかりと確かめられていることが必要です。漢字ドリルをする時でも「書き順に気を付けて、ていねいに、きれいな字を書こう」と示すことで、そこを意識します。言うだけでは駄目で「見えること」が大事です。



■家庭では、毎日我が子がしている役割や仕事があれば、改めて「～をしてきていることは、家族のために～で役立っているんだよ」と、役割の仕事の意義や意味を示してあげることで、一層意識しながら取り組んでくれるでしょうね。宿題も「きれいな字でていねいにやろうね」と言ってあげれば、意識をします。「宿題早くやりなさい」では違うのですね。

■さて、自学(自主学習)に慣れてくると、自分でこの日の自学の「めあて」を考えてから取り組むようになります。自学先進県の秋田県の取り組みがこれですね。「漢字の書き順を確かめて練習する」などと。与えられた「めあて」から自分で考え目標設定をする「めあて」になればバッチリです。

🌂 児童玄関にも「傘掛け」を設置しました 17日 🌂



児童玄関の「傘立て」したが、発想の転換で、「傘立て」を「傘掛け」に代えてみました。傘掛けと言っても、市販されているパイプハンガーです。通常の使い方は、室内で服などをハンガーで掛けるためのもですね。でも、使い方次第では、傘掛けになるのです。先々週に低学年の1・2年生のベランダに置いてみました。綺麗に片付き、とっても楽だと低学年の先生は声をそろえて話してくれました。早速、児童玄関のあゆみ学級や3年生以上が使う「傘掛け」を注文して、設置してみました。これまでの低くて箱型の傘立てと違って、すっきりと設置できました。右の画像は6年生の傘を掛けてみたものですが、低学年と同様に整然と収まりましたね。傘立てのことで、これまで感じていたモヤモヤがすっきりしました。どうでもいいことかもしれませんが、視点を変えてみると意外と効果があるものなのです。



こうちょうのひとりごと

◆牛肉裏話：今回の給食の取材の打合せを県の担当者とした際に、栄養教諭の坂本先生が、「今度使う牛肉見本を調理してみましたけど、とても高級な霜降り肉で油が多くて、とっても美味しいんです。でも、給食の調理だとちょっと大変ですね。給食の食材は、加熱をしっかりとする必要もあって、「美味しい油」がたくさん出てしまっ、もったいないのです。でも、そのままだと脂ぎってしまい逆に食べ辛くなっちゃいます。脂切りをして、赤身のお肉も混ぜたいですね。」と。さて、27日の「牛肉しぐれ煮」が楽しみです。それと、この日は、給食センターで炊いた「ご飯」が出るそうですよ。